

平成30年度 京都市立高野中学校の教育

小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～子どものいのち・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～

学校教育目標

一人一人を徹底的に大切にする「高野教育」を推進する



めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲と力を持つ生徒
- ・共に支え合い、高め合う生徒
- ・正しく判断し、行動する生徒

学校経営方針

1. 一人一人を大切にすきめ細かな指導により、誇りと自信を持って通える学校づくり

①規律ある生活習慣とルールを守る態度の育成

- ・あいさつの徹底
- ・学びにふさわしい学習環境作り

②支え合い、高め合える集団づくり

- ・生徒会活動の活性化
- ・個に応じた継続的支援<いじめ・不登校・支援を必要とする生徒>（クラスマネジメントシートの活用）
- ・発達障害等の可能性のある生徒を取り巻くいじめの防止，不登校対策等の体制整備（ユニバーサルデザインを意識した組織づくり）

③チームワークを大切にした教育活動

- ・ユニバーサルデザイン化を意識した組織の活性化
- ・的確な連携と協働活動

2. 一人一人の学ぶ意欲を高め、習得した知識・技能を活用し、課題を解決する力の育成

①学習習慣の確立と学習基盤の確立

- ・学習基本となる姿勢や習慣作り
- ・家庭学習の充実をめざす課題設定
- ・基礎の定着を図る補充学習
- ・学習確認プログラム活用の徹底

②「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる効果的な指導方法の工夫改善

- ・グループ学習（学び合い）の活用
- ・言語活動（伝え合い）の充実
- ・個に応じた指導法や指導体制（授業のユニバーサルデザイン化の推進）
- ・ICTの効果的な活用

③生涯にわたり学びつづける力の育成

- ・キャリア教育の充実
- ・学習・情報センターとしての図書館活用促進

3. 一人一人がいのちの大切さを認識し、互いを大切にする仲間づくり

①人権を尊重し、社会が持つ課題を見抜き、解決する力の育成

②道徳の時間を要に全教育活動を通じて道徳的实践力を育成

③自らが健康で安全な生活をつかみ取ることができる力の育成

④特別支援教育の視点を踏まえた教職員の組織づくりと学校運営の推進

4. 保護者や地域との信頼関係を築き、安心・安全で開かれた学校づくり

①学校運営協議会を活用し、学校と地域が一体となった学校運営の推進

②学校評価システムを活用した取組の検証と改善

5. ユニバーサルデザイン化の取組を意識した小中一貫教育の構築

これまで高野中学校が取り組んできた、授業のユニバーサルデザイン化の取組を2小学校にも発信し、連携を深める中で、ユニバーサルデザイン化を意識した9年間の学びについての素案を作成